

わたしたちの町と成田空港 Vol. 41

当町の北側に位置する成田空港は、昭和53年の開港以来、航空需要の拡大や航空ネットワークの強化などに伴い、第2ターミナルやB滑走路の供用、近年では、LCCの拠点となる第3ターミナルの完成など、日本を代表とする国際拠点空港として成長を続けています。

平成30年3月には、滑走路延伸や新設などをはじめとする「成田空港の更なる機能強化」の実施が合意され、令和元年10月には、A滑走路の夜間飛行制限が変更されました。(※)

さらに令和2年4月には、新たな滑走路に伴う騒音区域として、騒防法第1種区域が、同年10月には隣接区域が指定され、指定された区域では住宅防音工事助成制度の受付が開始されました。

「成田空港の更なる機能強化」は、中長期的な航空需要に対応するため、令和10年度末の完成に向けて事業が進められています。

現在は、C滑走路・B滑走路の早期完成に向けて、埋蔵文化財調査や地質調査等が行われ、また、C滑走路地区では令和5年12月から高谷川の排水整備に係る沈砂池設置の工事が始まり、B滑走路地区では令和4年10月から東関東自動車道切り回し道路工事が始まり、令和6年春頃には東関東自動車道切り回し道路の開通が予定されています。

また、「成田空港の更なる機能強化」の効果を十分に発揮させるためには、空港全体の能力向上が必要不可欠であることから、旅客ターミナルの再構築や航空物流機能の高度化、空港アクセスの改善・近隣地域との一体的・持続的な発展等に関する『新しい成田空港』構想が検討され、令和5年3月には『新しい成田空港』構想検討会より学識有識者や国・県・地元市町の意見が反映された中間取りまとめが公表されており、現在も引き続き、検討が進められています。

※A滑走路夜間飛行制限の変更 = 従来の6時から23時までの運用時間が6時から24時までと1時間延長されました。

＜成田国際空港の新たな滑走路建設予定地＞



※B滑走路の延伸及びC滑走路の整備については、東関東自動車道及び圏央道を含む道路等に多大な影響を与えるため、今後関係者と協議・検討していく必要があります。
※1,000haと大規模な敷地拡張となるため、展開候補地については、今後、関係者と協議・検討していく必要があります。

出典：成田空港の更なる機能強化ホームページ「成田空港の明日を、いっしょに」

- ・成田空港の更なる機能強化の詳細は、成田空港の更なる機能強化ホームページ「成田空港の明日を、いっしょに」をご覧ください。また、成田国際空港(株)から発行された「成田空港の更なる機能強化 滑走路整備計画の概要について」のパンフレットが必要な方は、企画空港課へお問い合わせください。
- ・『新しい成田空港』構想の中間取りまとめの内容については、こちらをご覧ください。

企画空港課空港班 ☎84-1279



↑「成田空港の明日を、いっしょに」

